



愛西市未来をひらく会（愛西市革新懇） 「コミュニティセンターの存続を求める」請願提出

「愛西市未来をひらく会」（愛西市革新懇）代表者（濱崎裕功氏）は、愛西市議会9月定例会に「防災コミュニティセンター・およびコミュニティセンターの存続を求める」請願書を提出しました。

令和2年に愛西市公共施設等個別施設計画が策定され、コミュニティ施設、立田・佐織体育館、学校給食八開センター、老人憩いの家な



どの施設について廃止する計画を示しています。

防災コミュニティセンターはそれぞれの地域の住民活動の拠点であり、また地域の防災活動の拠点でもあります。災害時には避難場所地域防災センターとしての様々な役割を担います。災害時の給水・食糧の保管場所等々数えあげればきりがありません。さらに使用料が安価なコミュニティセンターは、地域活動やサークル活動で安心して活用されています。

愛西市第2次総合計画でも、目指す姿として「コミュニティにおける活動支援や活動しやすい環境づくりが行われ、地域の連帯感や自治意識が高まり、さまざまな地域コミュニティ組織が活動している」としています。

「熊本地震・緊急募金」へのご協力をお願いします

7月28日に発生した熊本地震が甚大な被害を生んでいます。

犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

日本共産党は、田村智子委員長を本部長として「熊本地震・日本共産党対策本部」を立ち上げました。

被災地の党組織や地方議員とともに、救命・救援活動や要望の聞き取りなどに全力をあげています。

全国のみなさんに熊本地震・緊急募金へのご協力を訴えます。

お預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者救援、被災自治体のために活用します。

【請願事項】

防災コミュニティセンター・およびコミュニティセンターを存続すること

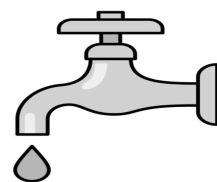
河合かつぺい議員

海部南部水道議会の一般質問

海部南西部水道広域化勉強会の内容は。

昨年の12月に、海部南部水道企業団、愛西市及び蟹江町の3事業体にて、広域化に向けての勉強会を設立した。

その目的は、将来にわたり安全で良質な水を安定かつ効率的に供給していくため、望ましい海部南西部地域の水道のあるべき方向性を見出すこととしている。



今年の6月に第2回を開催した。この勉強会は、愛知県水道広域化推進プランに基づき、「何かできることから」のスタンスで、特に期間を定めず、幅広く自由闊達な議論ができる場として設けたものであり、内容については、今後とも自由闊達に議論が進められるよう「非公開」としている。

水道管の耐震化率・老朽化率は。

令和7年度末の耐震化率は、全管路では19.5%で、昨年度から0.8ポイントの上昇（6年度18.7%）

令和7年度末の老朽化率は26.0%で、昨年度から0.74ポイントの上昇（6年度25.26%）

石綿セメント管の敷設変えは。

現在残存している石綿セメント管は、主に使用していない取水用の井戸から浄水設備までの導水管と呼ばれるもので、使用予定がないことから更新予定はない。今後は、撤去費がかかるので、どうしていくのかを考える。

愛西市平和祈念式に

参加しましょう

□8月13日（木）

午前9時30分より

□愛西市文化会館 ホール

戦争で亡くなられた方への畏敬の念および平和の尊さ、恒久平和への意思表示をするため、無宗教方式で平和祈念式を行います。一般の方々もご自由に参加できます。

第1部：平和祈念式

第2部：平和祈念事業

・非核平和広島派遣事業参加代表者の作文発表

・被爆体験伝承講話

